

News release

2022年12月6日

「ジールスタ[®]皮下注 3.6mg ボディーポッド」国内発売のお知らせ

～ジールスタが自動投与されるデバイスにより、化学療法実施患者の通院負担軽減を期待～

協和キリン株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：宮本 昌志、以下「協和キリン」）は、持続型 G-CSF 製剤^{注1}ジールスタ[®]（開発コード：KRN125、一般名：ペグフィルグラスチム（遺伝子組換え））の自動投与デバイスであるジールスタ[®]皮下注 3.6mg ボディーポッド（以下、「本剤」）を本日 12 月 6 日より発売することをお知らせします。

ジールスタは、Amgen K-A 社より導入した持続型 G-CSF 製剤です。がん化学療法による発熱性好中球減少症の発症抑制を適応症として日本にて 2014 年より販売しており、医療機関では通常、がん化学療法剤投与終了後の翌日以降に投与されます。本剤は、薬剤が約 27 時間後に自動で投与される機能を搭載しています。がん化学療法と同日に使用することでジールスタ投与のための通院が不要となります。この機能により、化学療法を実施する患者さんの通院負担の軽減に寄与するものと考えています。

本剤はテルモ株式会社（本社：東京都渋谷区、社長：佐藤 慎次郎）と共同で開発を行い、協和キリンが実施した安全性の評価を目的とする第 1 相臨床試験の結果に基づき製造販売承認申請を行い 2022 年 7 月に承認を取得、その後 2022 年 11 月に薬価収載されました。

協和キリングループは、ライフサイエンスとテクノロジーの進歩を追求し、新しい価値の創造により、世界の人々の健康と豊かさに貢献します。

（製品情報）

製品名	ジールスタ [®] 皮下注 3.6mg ボディーポッド
一般名	ペグフィルグラスチム（遺伝子組換え）
効能・効果	がん化学療法による発熱性好中球減少症の発症抑制
薬価	114,185 円/1 キット
製造販売承認取得日	2022 年 7 月 28 日
薬価基準収載日	2022 年 11 月 16 日
発売日	2022 年 12 月 6 日
販売	協和キリン株式会社
製造販売	協和キリン株式会社

注1 : G-CSF (Granulocyte Colony-Stimulating Factor) 製剤について

遺伝子組換え技術によって生産されるタンパク製剤。白血球の一種である好中球を選択的に増加させ、その機能を更に高める作用をもっています。これにより、がん化学療法による好中球減少症を速やかに回復させ、好中球減少症に伴う様々なリスクを低下させます。

注2 : 発熱性好中球減少症について

がん化学療法に起因して生ずる好中球減少症は、発熱を伴うことがあり、そのような病態は発熱性好中球減少症と呼ばれます。これは何らかの感染症が疑われる病態であり、ただちに適切な治療を開始しないと重症化する恐れのある合併症である、とされています。